

別紙 花粉の採取方法(指導指針より) 長野県農政部農業技術課

受粉樹の条件

- ・交配する品種と和合性があること。
- ・栽培品種間でも和合性があれば可能。
なるべく開花時期の早い品種から採取する。



りんご、なし品
種別 S 遺伝子型



名古屋大学りん
ご S 遺伝子検索



5分咲き頃に枝ごと花を採取

花の採取

- ・花の採取方法は、受粉樹など樹上で咲いた花を摘み取る(枝ごと採る場合も含める)方法と開花間近な枝を採取して、部屋等で加温して咲かせて採取する方法がある。
- ・気温が低く開花が遅れそうな場合は、受粉樹の周りをビニールで囲うことにより1～2日早く開花できる。シアナミド(CX-10)を用いても受粉樹「松島」が2日程度早まる(普及技術:平成30年度 普及に移す農業技術(第1回技術情報))。
- ・開花間近な枝を切って水の入ったバケツ等にさして保温・開花させる。温度は25℃前後で30℃以上にしない。
- ・花芽の付いているせん定枝を乾かないように保存しておき利用する方法もあるが、花粉の発芽率は低くなる傾向にあるため、なるべく開花に近い時期に採取する。
- ・採花は、開花直前の風船状になったものか、開花直後で花粉の出ているのが良い。



ハウスの中などで保温・開花(写真は桜)

薬落とし・開薬

- ・花粉は生きていますので採花したら直ちに薬採取機にかける。
花の必要量(10aあたり)薬付きの花粉=150cc、花粉だけの場合=8～10cc、必要花数=なしは5,000～8,000花・りんごは3,000～4,000花程度、一人当たり1,200花/1時間採花できる(栽培ほ場で)。
- ・取った花は薬落とし機にかけて、花弁、花糸を取り除き、更にふるいにかけて、薬のみとする。
- ・花がぬれている場合は、薬落としの前に室内に広げて水気を取るか、網袋に入れて洗濯機で軽く脱水する。
- ・薬落とし機のない場合は、5mm目位のふるいにかきつけて花をこすりつけるようにして、薬を落とす。



薬採取機

- ・開葯器の温度は 20～25℃に調節しておく。30℃以上では、花粉の発芽能力が低下するので注意する。また、湿度は最初 80% くらいから徐々に下げ、最終 50% くらいとなるように、ぬれ手ぬぐいなどを入れて湿度調節する。
- ・開葯器の皿に、葯が二重になるくらいに均一に薄く広げる。広げた葯が厚い場合は、途中でかき混ぜてむれが生じないようにする。
- ・表面のなめらかなパラフィン紙やツヤ紙に葯を薄く広げ、暖かい室内に置いて開葯させることもできる。温度や湿度は加湿器やオイルヒーターなどを用いて調節する。新聞紙大の広さのところへ 350～400 g 程度の花粉を広げる。
- ・花粉が出たら開葯器から取り出し、葯殻付きのまま紙袋に入れ、乾燥剤とともに茶筒や瓶に入れて保管する。
- ・機械で受粉するためには更に細かい篩(花粉精選機など)で精製花粉にする。



開葯機

保管

表 花粉の貯蔵方法

貯蔵期間	保存方法
短期貯蔵 (1～2日)	乾燥剤+茶筒、パラフィンに包み10℃以下の冷暗所
少し長い(数日)	乾燥剤+茶筒、パラフィンに包み5℃以下の冷暗所
長期間 (1年間)	家庭用の加工瓶に同量の乾燥剤を入れ-20℃以下

発芽率の調査

- ・長期貯蔵した花粉は必ず発芽率の調査を行う。
- ・長期貯蔵花粉の場合には常温まで馴らし、湿度にも馴らしてから検定する。
- ・発芽率 30% 以下の花粉は使用できない。60% 以上あれば、よい花粉と考えてよい。



石松子等で増量して使用する



保存用の瓶・缶



花粉精選機